



兵庫県立姫路東高等学校

令和4年4月27日発行

SSH通信

第21号

私たちが生きていく社会は、さまざまな乗り越えるべき困難と、解決すべき課題に満ちています。インターネットで調べれば答えや解決方法が書いてある、などということはありません。また、AI技術が広く導入されたことによって、AIと共存する社会の中で、人間にしかできない仕事とは何だろうか、と考えなければなりません。これらの問題発見・解決能力の育成は急務で、そのために本年度から始まった学習指導要領では、「探究」という科目が設定されて、日本中の高校生が授業として取り組むことになりました。本校はSSHに指定されており、すべての生徒が「課題研究」に取り組み、生きる力を養います。みなさん、一緒に楽しんで、積極的に探究しましょう。

SSH 推進部長 川勝和哉

令和4年度の探究活動が始まりました

令和4年度の授業が始まりました。今年度からは全年次で探究活動を進めていきます。

3年次は、昨年度の研究を引き続き行い、ポスターや論文を作成していきます。

2年次は、自然科学分野の研究だけでなく、その研究に関連した科学倫理の研究も行います。

1年次は、まずは探究活動のノウハウを学ぶ「ミニ探究」を経験します。

各年次で実施内容は異なりますが、自分たちで疑問をもち、解決方法を考え、実験を行い、結果を分析して、…、といった流れは同じです。

新入生はまずは探究活動の進め方の習得、上級生はさらなるレベルアップを期待します！



1年次探究ガイダンス

～昨年の探究活動の様子～



テーマのプレゼン（5月）



仮説の検討（6月）



検証のための実験・観察（7～8月）



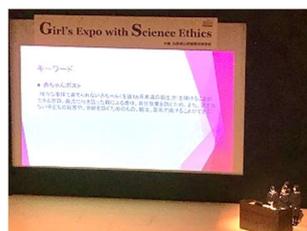
中間発表会（9月）



追加の実験・観察（10～11月）



生徒研究発表会（1月）



Girls Expo with Science Ethics（2月）

令和4年度のSSH行事

今年度の本校SSHの取組について、主だった行事です。

① 生徒課題研究前期発表会（7月）

3年次生の探究活動の最終発表です。1年次生のミニ探究の発表も行います。

② 生徒課題研究後期発表会（1月）

1年次生は探究活動の発表、2年次生は自然科学分野の探究活動の中間発表・科学倫理分野の発表を行います。

③ Girl's Expo with Science Ethics（2月）

他校の生徒も参加する、本校主催の行事です。自然科学の探究だけでなく、2年次の科学倫理の研究も発表します。また、外部の小中学生や高校生の発表を聴くこともできます。

これらの行事以外にも、

○ 「Science Conference in Hyogo」、「サイエンスフェア in 兵庫」など、自分たちの研究を発表できる発表会

○ 「アラカルト講座」（1年次生対象）、「サイエンスカフェ」（全生徒対象）など、大学や企業の研究者の話を聞くことができるイベント

○ 「数学・理科甲子園」、「数学オリンピック」などの理数系のコンテスト

○ 「大阪大学 SEEDS」「神戸大学 ROOT」など、大学の研究室で研究を行うプログラム

○ 「オーストラリアでのフィールドワーク」、「アメリカのジョージタウン大学との交流」などの海外での活動など、皆さんの可能性を広げる行事もたくさんあります。ぜひ積極的に挑戦してください！

行事の詳細や申込方法は、年次の Google Classroom などを利用して連絡します。



Science Conference in Hyogo（7月）



アラカルト講座（6月）



兵庫県南部地震と防災研修（12月）



科学部東京研修（12月）

ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクトに参加

令和3年度「ひょうご高校生環境・未来リーダープロジェクト」に本校から2名が参加しました。

2050年、今の高校生が40代半ばの地球環境を想定し、地球環境問題をグローバルな視点で捉え、自分に何が出来るかを考え行動できる人物を目指し、全4回にわたる研修や合宿、調査等を行いました。



第2回 グループワーク（11月）



ラジオ番組出演（12月）



第3回 グループ発表（12月）

～ 生徒の感想 ～

- ・ 学校でも探究や現代文の授業で話し合うことはあるけれど、もう一つレベルを上げたような環境でディスカッションでき、自分にとって大きな経験になったと思います。
- ・ 意見交換やグループ発表、ラジオ収録などを通して、自分の考えを簡潔にまとめ、人に伝える力がついたと思います。また、環境問題について意識の高い高校生の仲間に出会い、会話をすることで色々な価値観を学び、自分の視野を広げることができました。